

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 01 道路環境の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置付けている都市計画道路、道路利用者	道路施設の計画的な整備と適切な維持管理が行われ、道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標①	幹線道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	76.0	—	81.6	→
評価	(状況) 幹線道路に満足している市民の割合は81.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し5.6ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 道路整備年次計画に基づき道路の拡幅や道路舗装修繕等を効率的に実施し、適切な維持管理をしていることが、幹線道路に満足している市民の割合の向上につながっていると考えられます。						目標達成度 ☑ (達成)

指標②	生活道路に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【道路河川課】	%	73.1	—	77.4	→
評価	(状況) 生活道路に満足している市民の割合は77.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し4.3ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 地域からの要望を受け、生活道路としての利用状況等を精査し、緊急性や優先度を考慮して道路を整備したことが、生活道路に満足している市民の割合の向上につながっていると考えられます。						目標達成度 ■ (中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 道路の整備
基本事項 02 道路維持管理の推進
基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項01 道路の整備

指標 ①	市道の改良率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	64.2	64.4	64.4	64.3	(横ばい)
評 価	(状況) 市道の改良率は64.4%で、総合計画基準値(H28)と比較し0.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市道の認定路線が3路線増え、管理延長についても654m増えましたが、市道4路線の改良工事L=294mを実施したことによります。						目標 達成度
							(達成)

基本事項01 道路の整備

指標 ②	市道の舗装率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	70.3	70.7	70.8	70.5	(向上)
評 価	(状況) 市道の舗装率は70.8%で、総合計画基準値(H28)と比較し0.5ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市道の認定路線が3路線増え、管理延長についても654m増えましたが、生活道路等の利用状況を精査し16路線、延長約1,160mの舗装を実施したことによります。						目標 達成度
							(達成)

基本事項02 道路維持管理の推進

指標 ①	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	件	3	4	0	0	(向上)
評 価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は0件で、総合計画基準値(H28)と比較し3件減少しました。 (原因) 定期的なパトロールにより、現状を把握し、必要に応じて修繕工事などを実施しているためです。また、「レボナウすかがわ」への投稿19件についても修繕等を実施し、適切な維持管理に努めています。						目標 達成度
							(達成)

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標 ①	橋りょう定期点検実施率(2巡目:2019(R1)~2023(R5))	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	79.8	100.0	100.0	80.0	(向上)
評 価	(状況) 橋りょう定期点検実施率は100.0%です。 (原因) 平成26年度から進めてきた400橋の橋りょう定期点検(1巡目)が完了したためです。なお、平成30年度に2巡目の橋りょう定期点検に向けた橋梁長寿命化修繕計画の更新を実施しました。						目標 達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 道路の整備
- 基本事項 02 道路維持管理の推進
- 基本事項 03 橋りょう長寿命化の推進
- 基本事項 04 都市計画道路の整備

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標②	橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【道路河川課】	%	5.0	22.2	40.0	100.0
評価	<p>(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率は40.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し35.0ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、3橋の橋りょう修繕工事を実施したことによるものです。</p>						

基本事項04 都市計画道路の整備

指標①	都市計画道路の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市整備課】	%	84.5	85.0	85.0	85.7
評価	<p>(状況) 都市計画道路の整備率は85.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.5ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 県施工の須賀川駅並木町線 (本町工区) が完了したことによります。現在は国道4号を補完する関下一里担線の整備を進めているところですが、平成30年度工事で、地盤改良等の不測の要因が発生し、事業が完了できなかったため、令和元年度の工事進捗を目指します。</p>						

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 02 住環境整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市域	市街化区域の利便性が高まり、暮らしやすい住環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市街化区域の人口割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【都市整備課】	%	52.2	52.6	52.9	→
評 価	(状況) 市街化区域の人口割合は52.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.7ポイント増加しており、順調です。 (原因) 暮らしやすい住環境の整備が進んでおり、市街化区域の利便性が向上しているためと考えられます。						目 標 達 成 度 ☑ (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進
基本事項 02 都市機能の集約
基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進
基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標①	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【建築住宅課】	棟	0	1	0	0	(向上)
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物等の数は0棟で、総合計画基準値 (H28) の0棟を維持しています。 (原因) 建築物等の確認審査、完了検査を厳正に行うことにより、適正な建築物等が建築されていることが原因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 適切な土地・建物の利用推進

指標②	市街化区域内の未利用地面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市整備課】	km ²	3.3	3.3	3.3	2.4	(横ばい)
評価	(状況) 市街化区域内の未利用地面積は3.3km ² で、総合計画基準値 (H28) と比較し、横ばいです。 (原因) 開発行為等による土地利用は進みましたが、未利用地面積の減少には至りませんでした。						目標達成度
							(低)

基本事項02 都市機能の集約

指標①	都市機能の集約割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市整備課】	%	67.0	67.0	67.0	75.0	(横ばい)
評価	(状況) 都市機能の集約割合は67.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し、横ばいです。 (原因) 立地適正化計画の策定は完了しましたが、未発表 (未執行) であることが原因だと考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標①	公園の整備・維持管理に対する住民満足度	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【都市整備課】	%	81.1	—	85.1	→	(向上)
評価	(状況) 公園の整備・維持管理に対する住民満足度は85.1%で、総合計画基準値 (H28) と比較し4.0ポイント増加しており、順調です。内訳は「満足」6.3%、「やや満足」16.7%、「ふつう」62.1%です。 (原因) 市内公園について、適正な維持管理が行われていることや公園内でのイベント等の開催を積極的に推進していることから、公園に対する関心度が高まり、成果が向上したと考えられます。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 適切な土地・建物の利用推進
- 基本事項 02 都市機能の集約
- 基本事項 03 安全で快適な公園緑地化の推進
- 基本事項 04 良好な都市景観の創出・維持

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標②	公園維持管理上の不具合等による支障件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市整備課】	件	30	31	24	27	(向上)
評価	<p>(状況) 公園維持管理上の不具合等による支障件数は24件で、総合計画基準値(H28)と比較し6件減少しており、順調です。内訳は、遊具などの不具合によるものが7件、樹木の伐採に関するものが4件、利用やマナーによるものが5件、除草に関するものが8件となっています。</p> <p>(原因) 公園施設の長寿命化計画に基づき、遊具や樹木等の日常点検を行っているため、支障件数が減少したと考えられます。</p>	(件)					目標 達成度
							(達成)

基本事項03 安全で快適な公園緑地化の推進

指標③	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市整備課】	m ²	11.3	11.7	11.7	11.6	(向上)
評価	<p>(状況) 市民一人当たりの都市公園供用面積は11.7m²で、総合計画基準(H28)と比較し0.4m²増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 大黒池防災公園が完成したためです。都市公園の更なる利活用に向けて環境整備に努めます。</p>	(m ²)					目標 達成度
							(達成)

基本事項04 良好な都市景観の創出・維持

指標①	都市景観が良好だと思ふ市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【都市整備課】	%	82.6	—	85.8	➔	(横ばい)
評価	<p>(状況) 都市景観が良好だと思ふ市民の割合は85.8%で、総合計画基準値(H28)と比較し3.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 街路整備等がほぼ完了している市内中心部では、都市再生整備事業が進んでおり、また、震災からの復興などにより、空地や閉店したままの店舗も減少していることから、都市景観への満足度が向上したと考えられます。</p>	(%)					目標 達成度
							(達成)

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 03 水道水の安定供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
水道利用者	安全・安心な水の安定供給がなされています。

施策の成果状況と評価

指標①	水道施設の不具合における断水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	評価	【水道施設課】 (状況) 水道施設の不具合による断水件数は4件(漏水)で、総合計画基準値(H28)と比較し5件減少しており、順調に推移しています。 (原因) 水道施設の維持管理を適正に実施していることが原因として考えられます。	件	9	4	4	0

指標②	水道水が安全・安心だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
	評価	【水道施設課】 (状況) 水道水が安全・安心だと思う市民の割合は89.4%で、総合計画基準値(H28)と比較し1.4ポイント増加しており、市民アンケートによる指標であるため、統計誤差の範囲内ではありますが、順調に推移しています。 (原因) 定期的な水質検査の結果公表や適切な施設の維持管理を実施していることが原因として考えられます。	%	88.0	—	89.4	→

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	水道施設の耐震化
基本事項 02	水道施設の適切な維持管理
基本事項 03	水道事業の経営安定化

基本事項01 水道施設の耐震化

指標①	浄水施設の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	38.5	38.5	38.5	91.2	(横ばい)
評価	<p>(状況) 浄水施設の耐震化率は38.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し横ばい状態ですが、平成29年度福島県の浄水施設耐震化率の30.9%と比べると7.6ポイント上回っています。 (原因) 平成23年度から西川浄水場 (19,500m³/日) の改築を進めており、令和3年度に耐震化が完了するためです。</p>						目標達成度
		(低)					

基本事項01 水道施設の耐震化

指標②	基幹管路の耐震化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	%	43.8	43.8	45.7	47.0	(向上)
評価	<p>(状況) 基幹管路の耐震化率は45.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.9ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 長沼送水管の布設替等を実施したためです。</p>						目標達成度
		(中)					

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標①	浄水施設の不具合件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	1	1	1	0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 浄水施設の不具合件数は1件 (岩淵浄水場6号送水ポンプ電動機) で、総合計画基準値 (H28) と比較し、横ばいです。 (原因) 水道施設の維持管理等を年間を通して適正に実施しているためです。</p>						目標達成度
		(低)					

基本事項02 水道施設の適切な維持管理

指標②	配水管の漏水件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【水道施設課】	件	15	8	7	7	(向上)
評価	<p>(状況) 配水管の漏水件数は7件で、総合計画基準値 (H28) と比較し8件減少しており、目標値を達成しています。 (原因) 配水管の維持管理を適正に実施しているためです。</p>						目標達成度
		(達成)					

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 水道施設の耐震化
- 基本事項 02 水道施設の適切な維持管理
- 基本事項 03 水道事業の経営安定化

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ①	有収率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【水道施設課】	%	90.5	91.7	91.5	92.0
評 価	<p>(状況) 有収率は91.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.0ポイント増加しており、成果は向上しています。 (原因) 水道施設 (管路等) の更新に伴い、老朽管などからの漏水等が改善されているためです。</p>						<p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(中)</p>

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ②	料金回収率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【経営課】	%	107.8	106.3	106.0	100.0以上
評 価	<p>(状況) 料金回収率は106.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.8ポイント減少しましたが、目標値は達成しています。 (原因) 給水に係る費用が、給水収益で賄われており、供給単価と給水原価のバランスがとれているためです。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

基本事項03 水道事業の経営安定化

指標 ③	経常収支比率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【経営課】	%	116.4	113.6	114.2	100.0以上
評 価	<p>(状況) 経常収支比率は114.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.2ポイント減少していますが、目標値は達成しています。 (原因) 単年度の給水収益で維持管理費や支払利息等の費用が賄われ、健全な経営がなされているためです。</p>						<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 04 生活排水対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	生活排水処理施設により、市民の生活排水が適正に処理され、下流域の河川や湖沼などの水環境が向上します。

施策の成果状況と評価

指標 ①	汚水処理人口普及率（公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽の合計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき ☀ (向上) ■ (低)
		【下水道施設課】	%	81.2	81.6	81.9	
評価	<p>(状況) 汚水処理人口普及率は81.9%で、総合計画基準値（H28）と比較し0.7ポイント増加しており、順調です。</p> <p>(原因) 農業集落排水施設の整備が完了し、公共下水道管きよの整備も進んだことで、汚水処理施設の使用が可能となった世帯が増加したことによるものです。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標①	公共下水道整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	73.9	75.6	78.0	84.2	(向上)
評価	(状況) 公共下水道整備率は78.0%で、総合計画基準値 (H28)と比較し4.1ポイント増加しており、順調です。 (原因) 平成30年度で大東処理区の管路整備が完了し、また、第1処理分区 (和田道、朝日田地内) と第3処理分区 (森宿地内) の整備を実施したことにより、下水道施設を使用できる区域面積が平成28年度の926haから977haへ増加したことによるものです。						目標達成度
							(低)

基本事項01 生活排水処理施設の整備

指標②	転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	基	1,929	1,940	1,955	2,279	(向上)
評価	(状況) 転換による合併処理浄化槽設置基数 (累計) は1,955基で、総合計画基準値 (H28) と比較し26基増加しており、順調です。 (原因) 転換により合併処理浄化槽を設置する場合の上乗せ補助を、平成30年度から実施したことなどが要因と考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項02 水洗化の促進

指標①	公共下水道水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	79.7	77.7	78.3	81.5	(横ばい)
評価	(状況) 公共下水道水洗化率は78.3%で、総合計画基準値 (H28)と比較し1.4ポイント減少しており、一部停滞しています。 (原因) 大東処理区などの整備が進んだことで、処理区域内人口は増加しましたが、公共下水道への接続は個人負担であることから、接続人口の増加には時間を要するため、水洗化率が低下しました。						目標達成度
							(中)

基本事項02 水洗化の促進

指標②	農業集落排水施設水洗化率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.8	88.5	89.2	94.2	(向上)
評価	(状況) 農業集落排水施設水洗化率は89.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し0.4ポイント増加しており、順調です。 (原因) 平成29年度に整備が完了した稲・松塚地区の接続が進み、併せて接続人口が増加したことによるものです。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活排水処理施設の整備
基本事項 02	水洗化の促進
基本事項 03	処理場・下水道管の適切な維持管理
基本事項 04	公営企業の経営安定化

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標①	管きよの維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	3	0	2	0	(向上)
評価	(状況) 管きよの維持管理の不具合・トラブル件数は2件で、総合計画基準値 (H28) と比較し1件減少しており、順調です。 (原因) 管きよの機能不全箇所について、修繕工事や定期的な清掃を実施したことで、マンホールからの汚水吹き出しなどの苦情が減少しているためです。						目標達成度
							(低)

基本事項03 処理場・下水道管の適切な維持管理

指標②	処理場の維持管理の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 処理場の維持管理の不具合・トラブル件数は0件で、総合計画基準値 (H28) を維持しており、順調です。 (原因) 処理場の維持管理業務などを専門知識を有する業者に委託し、異常時に遠方監視システムによる迅速な対応を行っているためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標①	公共下水道使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m3	146	145	168	150	(向上)
評価	(状況) 公共下水道使用料単価は168円/m3で、総合計画基準値 (H28) と比較し22円/m3上昇しました。国の高資本費対策に要する経費の交付要件を満たすことができ、目標値を達成しました。 (原因) 平成30年4月1日から下水道使用料を引き上げたことや、雨水など不明水量が減少したことで、目標値を達成しました。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 公営企業の経営安定化

指標②	農業集落排水処理施設使用料単価	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【経営課】	円/m3	174	165	173	175	(横ばい)
評価	(状況) 農業集落排水処理施設使用料単価は173円/m3で、総合計画基準値 (H28) と比較し1円/m3低下しており、ほぼ横ばいですが、引き続き国の高資本費対策に要する経費の交付要件を満たしており、順調です。 (原因) 平成29年4月1日から長沼・岩瀬地域の使用料を引き上げ、須賀川・長沼・岩瀬3地域の使用料を統一したことにより、使用料収入が増加したためです。						目標達成度
							(低)

政策 04 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策 05 環境の保全と循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	自然環境に満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【環境課】	%	87.9	—	91.2	
評 価	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は91.2%で、総合計画基準値(H28)と比較し3.3ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 適切な公園整備、森林・農村環境整備や花いっぱい運動などにより、緑豊かで親しみの持てる自然環境が多いと考える市民が増えているためと考えられます。						(向上)
							目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 低炭素社会の推進
基本事項 02 水と大気環境保全
基本事項 03 放射線対策の推進
基本事項 04 生活衛生の向上
基本事項 05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項01 低炭素社会の推進

指標①	市管理施設の二酸化炭素排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	t-CO2	9,743	10,559	9,606	7,840	(向上)
評価	(状況) 市管理施設の二酸化炭素排出量は9,606t-CO2で、総合計画基準値 (H28) と比較し137t-CO2減少しています。 (原因) 暖冬の影響により、暖房の使用が少なかったほか、省エネルギーへの意識が向上していると考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項01 低炭素社会の推進

指標②	住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	1,247	1,357	1,563	1,700	(向上)
評価	(状況) 住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数は1,563件で、総合計画基準値 (H28) と比較し316件増加しており、補助利用件数は大幅に増加しました。 (原因) 再生可能エネルギー利用に対する意識が浸透してきているとともに、設備の低廉化により、導入が進んできていると考えられます。						目標達成度
							(中)

基本事項02 水と大気環境保全

指標①	水質のBOD基準値を上回った件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 水質のBOD基準値を上回った件数は0件です。水質測定を実施している13河川・22地点 (6回/年) のうち、すべての地点でBOD (生物化学的酸素要求量) 年平均値で基準を満たしています。 (原因) 下水道等の普及、事業所や住民意識の向上などにより、河川水質については、安定している状況であると考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 水と大気環境保全

指標②	大気の基準値を上回った日数 (光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	日	27	42	—	0	---
評価	(状況) 大気の基準値を上回った日数は、令和2年2月以降に公表される予定の県大気汚染測定結果より取得するため、実績値は取得できませんでしたが、なお、平成29年度と比較すると42日が環境基準を上回りましたが、年平均値は0.033ppmであり、光化学スモッグ注意報が発令される「1時間値0.12ppm」からすると、観測数値は低いものとなっています。 (原因) 主な要因としては、工場や自動車からの排ガス (窒素酸化物) の上昇が考えられます。県内各地の観測局でも同様に環境基準を超えていますが、本市と同程度の低い数値です。						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	低炭素社会の推進
基本事項 02	水と大気環境保全
基本事項 03	放射線対策の推進
基本事項 04	生活衛生の向上
基本事項 05	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項03 放射線対策の推進

指標①	搬出が完了した除去土壌等の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【原子力災害対策課】	%	3.4	7.5	24.0	100.0	(向上)
評価	<p>(状況) 搬出が完了した除去土壌等の割合は24.0%で、総合計画基準値 (H28) と比較し20.6ポイント増加しました。国から示された搬出可能性に対し、順調に搬出しています。</p> <p>(原因) 早期搬出について国に要望等を行ってきた結果、国からの予算配分額と搬出可能性が大幅に増加したことによるものです。</p>						目標達成度
		(低)					

基本事項04 生活衛生の向上

指標①	生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	件	40	29	23	32	(向上)
評価	<p>(状況) 生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数は23件で、総合計画基準値 (H28) と比較し17件減少しました。苦情内訳としては、「隣地の雑草の繁茂」が21件、「ハチの巣駆除」が2件となっています。空き地・空家の増加に伴う苦情件数の増加や管理者不明の土地などへの対応が懸念されています。</p> <p>(原因) 市ホームページや広報紙で、敷地の適正管理について周知するとともに、苦情のあった土地の所有者や管理者に対しては、口頭・文書による適正管理の要請を行ない、理解を得ることとしています。</p>						目標達成度
		(達成)					

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標①	市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	g	821	824	863	743	(低下)
評価	<p>(状況) 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は863gで、総合計画基準値 (H28) と比較し42g増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 家庭系可燃ごみが3g減少しているものの、景気動向に左右される事業系可燃ごみが45g増加したことによるものです。</p>						目標達成度
		(低)					

基本事項05 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標②	リサイクル率（再資源化率）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【環境課】	%	16.2	15.1	17.2	17.0	(向上)
評価	<p>(状況) リサイクル率（再資源化率）は17.2%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.0ポイント増加し、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 一般家庭から排出される資源物は、市内スーパー店頭等での資源物回収などの要因により回収量は減少傾向にありますが、事業所から排出される資源物が大きく増加したことから、リサイクル率が上昇しました。</p>						目標達成度
		(達成)					